



グローバル人材育成特別コース

# 履修案内

2025 年度第一次募集  
第 2 学期履修開始



# 目 次

I	グローバル人材育成特別コースの趣旨・概要	・・・・・・・・ 2
II	2025年度第一次募集（第2学期履修開始）	・・・・・・・・ 3
III	カリキュラム	
	カリキュラム	・・・・・・・・ 4
	英語力養成プログラム（SPAcE）, グローバルリーダーシップ	・・・・・・・・ 5
	海外留学に関する単位	・・・・・・・・ 9
IV	履修に関すること	・・・・・・・・ 13
V	学びのサポート	・・・・・・・・ 14
VI	その他	・・・・・・・・ 15

## I. グローバル人材育成特別コースの趣旨・概要

グローバル人材育成特別コースは、岡山大学が推進するグローバル教育の一環として、2013年度に設置されました。このコースでは、国際的な活動を奨励・促進し、将来グローバル社会のリーダーとして実践的に活躍できる人材を育成します。

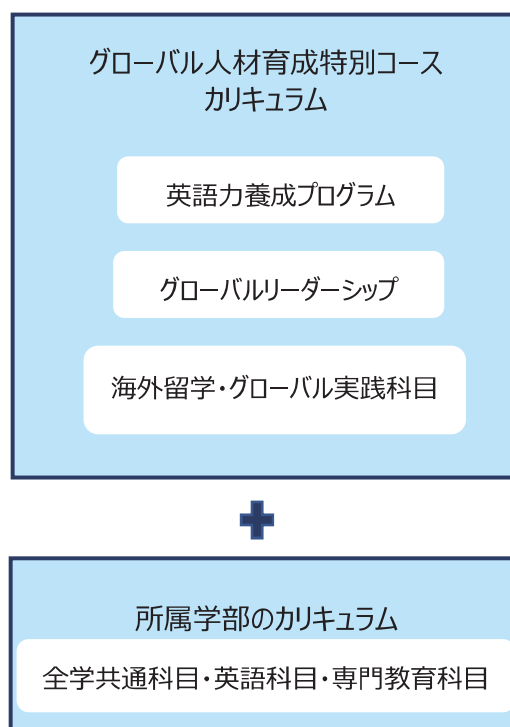
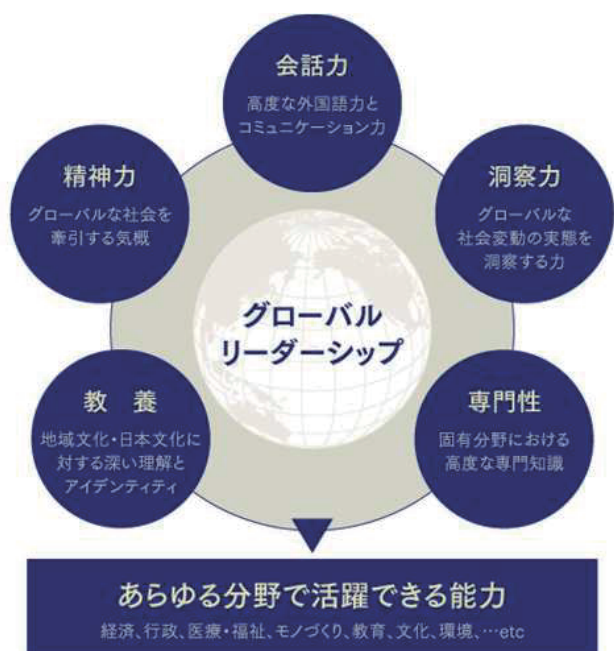
コース生は、それぞれの学部等に所属しながら、国際色豊かなカリキュラムを履修します。特に1年次では、4技能（読む・聴く・書く・話す）を徹底的に鍛える英語力養成プログラムを通じて、語学力を向上させます。また、グローバルリーダーシップをテーマに、SDGsに関連する科目を含む幅広い学びを通じて、世界のさまざまな課題に目を向け、グローバル社会の在り方への理解を深めるとともに、創造的思考力や異文化理解力を養います。コース生は、語学研修や異文化体験、海外留学やインターンシップ、国際会議やSDGsに関連する活動など、多様な国際経験を通じて、豊かな国際感覚を培います。さらに、主体性を持って行動し、チャレンジ精神を育てる中で、コミュニケーション能力や協調性を高め、グローバル社会で活躍できる人材をめざします。

グローバル人材育成院では、コース生の学修計画に応じた履修指導や英語学習支援、海外研修・留学の機会を提供し、体系的な支援を通じて、グローバル人材としての成長を促していきます。

### 入学～修了までの流れ



### 充実したグローバル・プログラム



## II. 2025年度第一次募集（第2学期履修開始）

### 1. 選考スケジュール

日 時	内 容	場 所
4/3 (木) 10時～11時 14時～15時	<b>STEP1 グローバル人材育成特別コース説明会</b> 2回開催, すべて同じ内容 ※詳細はHPでご確認ください。応募方法など説明します。 <b>グローバル人材育成院HP: <a href="https://global.okayama-u.ac.jp">https://global.okayama-u.ac.jp</a></b>	一般教育棟 E11
4/4 (金) 10時～11時 14時～15時	<b>STEP2 グローバル人材育成特別コース履修相談会</b> 2回開催, すべて同じ内容 ※カリキュラムや履修方法などに関する相談	一般教育棟 E12
4/10 (木) 7・8時限	<b>STEP3 「グローバル人材育成特別コース入門」第1回授業</b>	一般教育棟 E11
<b>4/16 (水)</b>	<b>第一次募集 : 申込〆切 オンライン受付(Moodle)</b>	
5/7 (水)	<b>第一次募集 : 結果通知 上記HPで発表およびメール通知</b>	
5/8 (木) 17時〆切	<b>Gコース科目抽選(第2学期) 登録〆切(17時まで)</b>	
5/13 (火)	<b>Gコース科目抽選(第2学期) 結果発表</b>	
5/19 (月)	全学共通科目(知の探研を除く)・全学交流科目抽選(第2学期)登録〆切	

2. 定員 100人程度

### 3. 応募資格

以下の(1)～(3)を全て満たす者

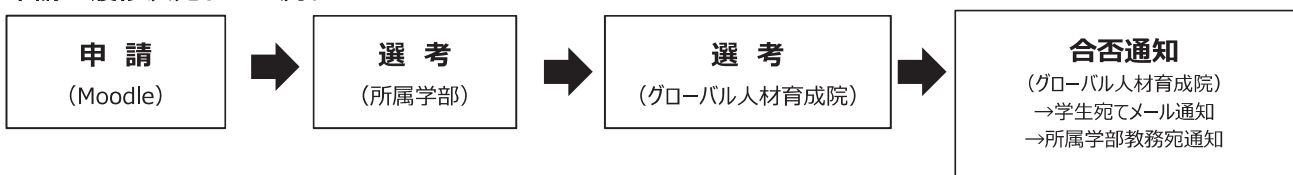
- (1)2025年度入学の学部1年生
- (2)国際的な活動や、地域と日本の文化への深い理解を踏まえた異文化交流に意欲のある者。
- (3)原則として入学時に本学で実施するLinguaskill General 4技能において560点以上のスコアを取得した者

※ やむをえない事情により入学時のLinguaskill General 4技能を受験しなかった者が、本コースの履修を希望した場合、育成院にて対応を検討するのでグローバル人材育成院までご相談ください。

### 4. 申請方法

申請期間	2025年4月9日(水)～4月16日(水)
提出書類	グローバル人材育成特別コース履修申請書(所定様式1)
提出方法	詳細はHPでご確認ください。 グローバル人材育成院HP: <a href="https://global.okayama-u.ac.jp">https://global.okayama-u.ac.jp</a>

### 5. 申請～履修決定までの流れ



●合否の通知  
申請者全員にメールで結果を通知します。(上記HPでも発表します。)  
合格者には今後の連絡事項も併せて通知します。

【問い合わせ先】 グローバル人材育成院 (一般教育棟C棟1階学務部国際教育推進課事務室内)  
E-mail [global@adm.okayama-u.ac.jp](mailto:global@adm.okayama-u.ac.jp)



### Ⅲ カリキュラム

【2025年度入学者】

コース科目区分	授業科目	履修区分	単位	修了要件	
英語力養成プログラム (SPAcE)	Health & Sustainability (H&S)	Content Based Instruction	必修	1	1
	Global Social Issues (GSI)		選択必修	1	2以上
	Global Communication (GC)			1	
	Intercultural Relations & Communication (IRC)			1	
	Intro to Academic Skills (IAS)	Academic Skill Training	選択	1	6
	Advanced Academic Skills (AAS)		選択	1	
	Research Writing Class (RWC)		選択	1	
	Independent Study Skills (ISS)	English Skill Development	選択	1	
	TOEFL Preparation Class (TP)		選択	1	
	IELTS Preparation Class (IP)		選択	1	
グローバルリーダーシップ	グローバル人材育成特別コース入門	選択必修	1	2以上	5
	Introduction to Global Leadership		1		
	Global Leadership in Practice		1		
	Global Awareness		1		
	Introduction to SDGs		1		
	Japan Goes Global: Exploring Current Intercultural Issues	選択必修	1	1以上	
	※指定科目				
	English Diplomacy	選択必修	1	1以上	
	※指定科目				
	※指定科目				
海外留学・グローバル実践科目	グローバルフィールドスタディ ※20日以上	必修	1	1	
合計				12	

## SPAcE, English Diplomacyの重複履修等について

科目名 (略称)	コース 修了要件 算入限度	英語レベルの目安 (Language Skill General) 4技能平均スコアならび に対応するTOEICスコ ア)	重複履修	ルール	履修対象				Gコース科目抽選にご注意ください!			
					1学期	2学期	3学期	4学期	1学期	2学期	3学期	4学期
Health&Sustainability (H&S)	2単位まで	138 TOEIC500	○	同教員は重複×(学期が違っても×) 別の教員であれば2単位まで重複履修可	社会系 GDP	社会系 (Gコース・留学 生) GDP <small>(※Gコース生優先)</small>	生命系・自然系 (Gコース・留学 生) GDP <small>(※Gコース生優先)</small>	生命系・自然系 (Gコース・留学 生) GDP <small>(※Gコース生優先)</small>	抽選なし <small>※履修対象に注意</small>	抽選なし <small>※履修対象に注意</small>	抽選なし <small>※履修対象に注意</small>	抽選なし <small>※履修対象に注意</small>
Global Social Issues (GSI)	2単位まで	138 TOEIC500	○	同教員は重複×(学期が違っても×) 別の教員であれば2単位まで重複履修可	全	全	全	全	抽選なし	Gコース科目抽選 シラバスで メ切・登録URLを 要確認	Gコース科目抽選 シラバスで メ切・登録URLを 要確認	Gコース科目抽選 シラバスで メ切・登録URLを 要確認
Global Communication (GC)	2単位まで	138 TOEIC500	○	別の教員であれば2単位まで重複履修可 (ただし、学期が異なる場合は同教員でも重複履修可) 同学期で同教員は重複履修×			全	全			Gコース科目抽選 シラバスで メ切・登録URLを 要確認	Gコース科目抽選 シラバスで メ切・登録URLを 要確認
Intercultural Relations and Communication (IRC)	4単位まで	147 TOEIC600	○	4単位まで 重複履修○ 同学期での重複履修× 1年次(3・4学期) → 2年次(1・2学期) もしくは 1年次(2・3・4学期) → 2年次(1学期) ※いずれも1~2年間で1年間の連続履修が原則 下記★1)「IRCの履修上の注意」参照	Gコース 2年生以上	Gコース	Gコース	Gコース	抽選なし <small>※当選者のみ履修 可</small>	Gコース科目抽選 (特選1のみ) シラバスで メ切・登録URLを 要確認	Gコース科目抽選 (特選1のみ) シラバスで メ切・登録URLを 要確認	抽選なし <small>※当選者のみ履修 可</small>
Intro to Academic Skills (IAS)	1単位まで	138 TOEIC500	×		全	Gコース(優先) GDP・留学生	Gコース(優先) GDP・留学生		抽選なし	Gコース科目抽選 シラバスで メ切・登録URLを 要確認	Gコース科目抽選 シラバスで メ切・登録URLを 要確認	
Advanced Academic Skills (AAS)	2単位まで	138 TOEIC500	○	同教員は重複×(学期が違っても×) 別の教員であれば2単位まで重複履修可 SPAcE英語IAS(Intro to Academic Skills)を修得済みである こと			Gコース(優先) GDP・留学生	Gコース(優先) GDP・留学生			Gコース科目抽選 シラバスで メ切・登録URLを 要確認	Gコース科目抽選 シラバスで メ切・登録URLを 要確認
Research Writing Class (RWC)		138 TOEIC500	○	2単位まで 重複履修○ 同学期での重複履修× 2年次以上の科目 3学期→4学期 連続履修が原則 (4学期のみの履修は不 可) アカデミック英語(ライティング)を履修済みであること 下記★2)「RWCの履修上の注意」参照			全 2年生以上	全 2年生以上			抽選なし	抽選なし
Independent Study Skills (ISS)	1単位まで	138 TOEIC500	×		全	Gコース(優先) GDP・留学生	Gコース(優先) GDP・留学生		抽選なし	Gコース科目抽選 シラバスで メ切・登録URLを 要確認	Gコース科目抽選 シラバスで メ切・登録URLを 要確認	
TOEFL Preparation Class (TP) 科目名: キャリアパス 英語 (TOEFL)			○	同じ教員で同じ技能は重複履修× 重複不可となる例 1学期木曜7・8限 五十嵐先生 3学期月曜7・8限 五十嵐先生 ※時間帯は年度によって異なる場合があります。  技能は4種類(Reading, Listening, Speaking, Writing) 各授業のシラバスで技能を確認すること。	全	全	全	全	抽選なし	抽選なし	抽選なし	抽選なし
IELTS Preparation Class (IP) 科目名: キャリアパス 英語 (IELTS)			○	同じ教員は重複履修× (別の教員は重複履修○) 2019年度以前にIP1を修得済みの場合 科目名にかかわらず 別の教員であれば重複履修○ 2019年度以前に修得した同じ教員は通常2単位まで重複履 修○	全	全	全	全	抽選なし	抽選なし	抽選なし	抽選なし
English Diplomacy		147 TOEIC600	○	2単位まで重複履修○  ①TOEIC600点(リテラスキル4技能平均147)以上レ ベルが受講可 ②定員30人(Gコース優先ではない) ③模擬国連に参加可能な学生が優先	全		全		抽選なし		Gコース科目抽選 シラバスで メ切・登録URLを 要確認	

### ★1) IRCの履修上の注意

- \*IRCは欧米の大学を想定した授業スタイルで展開する非常にハイレベルな授業です。
- \*原則として以下のいずれかの形式で1年間連続履修し、留学できるレベルまで英語力を高めることをめざします。
  - ① 1年次 3学期 → 4学期 → 2年次 1学期 → 2学期
  - ② 1年次 2学期 → 3学期 → 4学期 → 2年次 1学期
 スタandardな履修パターンは①1年次3学期スタートです。

- \*自分の英語力や高い学習意欲で頑張れるかよく考えて履修すること。
- \*IRCは非常に難易度が高く、レベルの高いディスカッションが展開します。リスニングとスピーキングの基礎力があり、難解なテキストにもひるまず課題にも熱心に取り組み、プレゼンテーションまで努力を継続できる学生が受講すること。
- \*長期留学をめざす方にとっては、海外の授業スタイルや学習量を体感できるので留学準備としてもお奨めします。
- \*継続して同じクラスメイトと学ぶので、連帯感が生まれて苦労や達成感を分かち合う楽しさも味わえます。

### ★2) RWCの履修上の注意

- \*RWCは2年次以上対象。1年次は履修不可。
- \*アカデミック英語(ライティング)を修得済みであること。  
(外部検定試験のスコア基準を満たし、同科目が単位認定されている場合も認める。)
- \*RWCは以下のいずれかの形式で履修すること。
  - ① 3学期-4学期 (連続履修)
  - ② 3学期 のみ履修

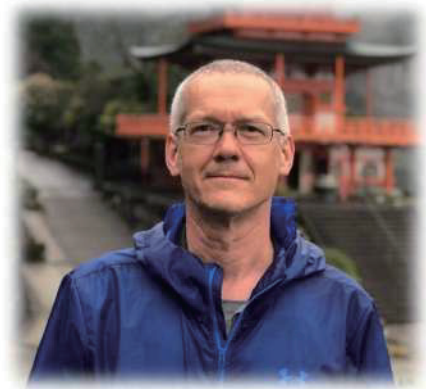
- \*3-4学期は連続した授業内容のため、3学期を履修せずに4学期からの履修は認めない。

# 英語力養成プログラム（SPACE）, グローバルリーダーシップ

## 「Health&Sustainability (H&S) 」

### 1 年生での履修を強く推奨します。

社会問題への意識を高めます。持続可能性、環境、公衆衛生などに関連するトピックで、英語でディスカッションやプレゼンテーションを行います。情報収集したり、意見の賛否を理解したりしながら、多様な考え方や価値観に触れ、現代社会における課題をさまざまな視点から考えます。



John RUCYNSKI 先生

## Content Based Instruction



森谷浩士先生

## GC 「Global Communication」

初対面での会話、目上の人との会話、メールでの自己紹介、フォーマルなプレゼンテーションなど、実用的な英語のコミュニケーション・スキルを身につけます。



Alexis PUSINA 先生

## 「Global Social Issues (GSI) 」

英語力養成プログラムの中では比較的基礎的な科目。さまざまな社会問題について、英文記事を読んだり、ビデオを見たりしながら、グローバルな視野を身につけます。同時に、英語でのディスカッション、プレゼンテーション、レポート執筆を行い、英語力を高めます。

## 「Intercultural Relations and Communication (IRC) 」

この授業は、1年次から2年次にかけて1年間開講され、語学用の教科書ではない専門書を使って、海外の大学で実際に行われている授業形式で行われます。これにより「読む・聞く・書く・話す」の4技能を確実に伸ばし、留学先の大学での授業に対応できる高いレベルの英語力を身につけることを目指します。

毎回の授業では、主体的に意見交換できるディスカッション能力を養います。積極的に自分の意見を伝える力、相手の意見を理解する力、そしてグループをまとめる力を身につけます。

自分の興味に合わせて、英語でレポートを書きます。自分で調べた文献などを論理的に構成し、自分のアイデアを批判的にそして創造的に書く力を養います。

2回実施される本格的なプレゼンテーションを通じて、留学中だけでなく将来にわたって活かせる英語での発信力を身につけます。1回目は基本的な発表準備の方法（アウトライン作成・信頼性の高い文献選び・スライドでの提示方法など）を学びます。2回目では、1回目で見つかった課題点を克服し、留学先での授業や国内外の学会、社会やビジネスの場面にも応用できるような発表力を養い、自分の力として定着させることを目指します。

## Academic Skill Training



Caleb PRICHARD 先生

### 「Intro to Academic Skills (IAS)」

留学時に必要な基礎的な英語でのアカデミック・スキルを身につけます。英語の講義の聞き方、大学の教科書の読み方、要約の仕方等について練習を通じて身につけます。

### 「Advanced Academic Skills (AAS)」

AC1 の発展授業です。演習形式の授業で必要なアカデミック・スキルを習得します。専門書の内容について、議論したり、プレゼンテーションしたりします。その内容をリサーチペーパーとしてまとめるために、文献の引用の仕方や言い換えなど、論文執筆の作法を学びます。

### 「Research Writing Class (RWC)」

海外の大学に必要な研究成果の発表力を高めます。研究課題の設定、文献調査、議論の展開、論理的な論文構成といったアカデミック・ライティングに必要な力を育成します。

## English Skill Development

### 「Independent Study Skills (ISS)」

自律学習のコースです。受講学生が自らの弱点を把握し、それを改善するために学習を計画し、それを実行します。さまざまなメディアや教材の中から各自の目標にあった教材や方法を選んで実践し英語力を伸ばします。

### 「TOEFL Preparation Class (TP)」

科目名：キャリアパス英語 (TOEFL)

TOEFL iBT 試験に合わせたスキル演習を行います。

### 「IELTS Preparation Class (IP)」

科目名：キャリアパス英語 (IELTS)

IELTS 試験に合わせたスキル演習を行います。



Susan MEIKI 先生



Tim CLEMINSON 先生

## グローバルリーダーシップ

### English Diplomacy

異なる国連加盟国の代表者となって英語でロールプレイを行う授業です。地球規模の問題と世界各国ならびに人々への影響、それらの問題を解決するための対策や課題を英語で議論することで、より確かな英語のディスカッション能力を身につけます。この活動を通じて、国際社会における国連の役割についても理解を深めます。

履修希望者が多い場合、学外で実施される Model United Nations に参加可能な学生の履修を優先します。

# グローバルリーダーシップ

## ベーシック

ベーシックでは、グローバル人材育成院コースの基本理念を学び、異文化コミュニケーションやSDGsの基礎を理解することを目的としています。これにより、学生はグローバルな視点を身につけ、専門的な学びに向けた土台を築きます。

### 推奨科目：「グローバル人材育成特別コース入門」

グローバル人材育成院コースのアドバイザー教員である准教授・稲森岳央が担当するこの授業では、コースでの学習方法や海外留学に関する情報など、コース生に必要な知識を体系的に学びます。他の必修科目と時間割が重複しない限り履修してください。



グローバル人材育成院教員

稲森 岳央 先生

## 多文化共修, 国際関係, SDGs・地域社会共創

### 多文化共修

異なる文化的背景を持つ学生が共に学びながら、異文化理解を促進し、国際的な協働能力を高めることを目的とした科目です。

### 国際関係

国家間の政治、経済、社会の関係について学び、国際社会の動向や課題を深く理解することを目的とした科目です。主なテーマとしては、国際政治、国際経済、国際法、外交、安全保障といった分野が含まれ、これらの視点からグローバルな課題を分析し、日本および各国の役割について学びます。

### SDGs・地域社会共創

社会、環境、文化、経済など多様な視点からグローバルおよび地域社会の課題を探究し、持続可能な発展のあり方について学ぶことを目的とした科目です。社会科学、自然科学、人文科学、芸術文化などの幅広い分野を横断的に学びながら、持続可能な未来を構築するための知識と実践的なスキルを養います。

- \* 指定科目は毎年変わります。指定されていない年度に同じ名称の科目を修得しても対象とならないのでご注意ください。
- \* WEB 抽選となっている科目がありますのでご注意ください。
- \* 各科目の履修上の注意事項については必ずシラバスにてご確認ください。



# 海外留学に関する単位

2025 年度以降入学者

コース 科目区分	コースの授業科目名	単位	修了 要件
海外留学・ グローバル 実践科目	グローバルフィールドスタディ	1	1

**※単位認定申請手続きが必要**

※「グローバルフィールドスタディ」に関する単位認定を参照

「グローバルフィールドスタディ」に関する単位認定

種別	派遣期間	備考
海外派遣	20 日以上 (移動のみの日は除外) ※合算可	※派遣期間の要件を満たした時点で、 単位認定申請手続きが必要
国際的な活動 (オンラインプログラムを含む)	80 時間以上 ※合算可	※派遣期間の要件を満たした時点で、 単位認定申請手続きが必要 ※海外派遣と合算する場合は、日数に 換算する（4 時間を 1 日に換算）

## 単位認定申請手続きの流れ

- ① プログラムに参加
- ② グローバル人材育成特別コースの海外派遣の要件（20 日以上または 80 時間以上）を満たした時点で、グローバルフィールドスタディ単位認定申請書（および添付書類）を提出
- ③ グローバル人材育成院で審査
- ④ 「グローバルフィールドスタディ（1 単位）」の単位認定

※履修登録は、単位認定申請書を受理した後、グローバル人材育成院で行います。

※グローバルフィールドスタディ単位認定申請書（様式）は、  
右の QR コード（グローバル人材育成院ウェブサイト）  
からダウンロードし、記入例を参考に作成ください。



### 岡山大学が実施する派遣プログラムに参加する場合

単位付与の有無に関わらず単位認定申請が可能です。

ただし、既に単位認定されているプログラムについては、新たに履修登録・成績登録は行わず、「グローバルフィールドスタディ」の単位を修得したものと読み替えます。

### グローバル人材育成特別コースが指定する国際的な活動に参加する場合

単位付与の有無に関わらず単位認定申請が可能です。申請する際は、単位認定申請書の他に活動レポートと活動時間報告書の提出も必要です。

### 学外の海外派遣プログラムに参加する場合

全学対象の「海外における国際共修プログラム」を修得後、「グローバルフィールドスタディ（1 単位）」の単位認定申請手続きを行ってください。

ただし、既に単位認定されているため、グローバルフィールドスタディ単位認定承認後、新たに履修登録・成績登録は行わず、「海外における国際共修プログラム」の単位をもって、「グローバルフィールドスタディ」の単位を修得したものと読み替えます。

※「海外における国際共修プログラム」を修得しても、「グローバルフィールドスタディ」の単位認定申請をしなければ、グローバル人材育成特別コースの海外派遣に関する要件を満たせません。

### 複数のプログラムに参加し、合算する場合

原則として日数で加算します。ただし、国際的な活動のみの場合は、時間数での申請も可能です。また、海外派遣プログラム（日数）と国際的な活動（時間数）を合算する場合は、国際的な活動の活動時間を日数に換算（4時間を1日）し、合計日数が20日以上であれば、「グローバルフィールドスタディ（1単位）」の単位認定申請手続きを行うことができます。

#### 複数の派遣で合算して20日を満たす場合のルール

##### 海外派遣プログラム：20日以上必要

（例）工学部海外短期研修（DIG）7日間 + グローバル人材育成院春期語学研修 15日間

##### 国際的な活動：80時間以上必要

（例）模擬国連（JUEMUN）30時間 + CLS ランゲージパートナー50時間

##### 海外派遣プログラムと国際的な活動：日数に換算して合算（4時間で1日）、20日以上必要

（例）模擬国連 7.5日（30時間）+ グローバル人材育成院春期語学研修 15日間

### 海外派遣プログラムに関する相談や情報収集

#### 情報収集（グローバル人材育成院からのお知らせ）

海外派遣プログラムに関する情報は、主に次の3つの手段でお知らせしています。

1. グローバル人材育成院（global@adm.okayama-u.ac.jp）または、国際教育推進課（ryugaku@adm.okayama-u.ac.jp）より、岡山大学 Gmail 宛てに送信
2. 岡山大学グローバル人材育成院ウェブサイトへの掲載
  - ・海外留学交流プログラム
  - ・留学のススメ冊子版詳細は右のQRコードからご確認
3. 一般教育棟B棟・C棟1階にある留学関連の掲示板、または各部局の掲示板



#### 留学相談

グローバル人材育成院では、海外留学を希望する学生の相談を3つの方法で受付けています。

1. グローバル人材育成院派遣担当教員による相談 ※要予約
2. 学務部国際教育推進課スタディ・アブロード部門 ※予約不要
3. 留学準備デスク

詳細は右のQRコードからご確認



所属部局の派遣プログラムに関しては、所属の教務または履修アドバイザーにご相談ください。

# グローバルフィールドスタディ申請対象プログラム

## 岡山大学が実施する派遣プログラム

学務部または部局が実施する海外派遣プログラムは「留学のススメ」冊子でご確認ください。



### 【留学のススメ閲覧方法】

上記 QR コードを読み込み、ページ下部の「留学のススメ冊子版」をクリックしてください

※岡山大学が実施プログラムは、留学のススメ冊子に載っていない場合でも、参加が確認できれば申請可能です。

## 国際的な活動（オンラインプログラムを含む）

国際的な活動は、グローバル人材育成院（[global@adm.okayama-u.ac.jp](mailto:global@adm.okayama-u.ac.jp)）より随時 G コース生の岡山大学 Gmail 宛てに案内しています。参加したプログラムが国際的な活動に該当するか確認したい場合は、グローバル人材育成院までお問合せください。

### 【問い合わせ先】

グローバル人材育成院

（一般教育棟 C 棟 1 階学務部国際教育推進課事務室内）

TEL : 086-251-8552

E-mail : [global@adm.okayama-u.ac.jp](mailto:global@adm.okayama-u.ac.jp)

対応時間 : (午前) 8 : 30-12 : 00 (午後) 13 : 00-17 : 00

国際的な活動の一例 :

EPOK バディ, CLS プログラム, 国際シェアハウス, One Young World (OYW) , 模擬国連 (国内外問わず) , ASEAN 拠点事業プログラム, 大使館・領事館主催プログラム, JICA 主催因島フィールドワーク合宿, 日本留学海外拠点連携推進事業主催「私の大学紹介」プレゼンテーションコンテスト, 基幹教育センター主催セミナー, グローバル人材育成院主催セミナー, ジェトロ岡山特別セミナー, その他 G コース担当教員が国際的な活動として認めるプログラム 等



# グローバルフィールドスタディ申請対象プログラム

学外の海外派遣プログラムに参加した場合でも、Gコースの海外派遣要件に算入できる可能性があります。

全学対象の「海外における国際共修プログラム」を修得後、「グローバルフィールドスタディ（1単位）」の単位認定申請手続きを行ってください。

## 学外の海外派遣プログラム（参考）

所管	プログラム名	国	派遣先大学等	使用言語	対象	派遣期間 (実施年度によって異なるので注意すること)
CIEE	アメリカ「教師アシスタント」	アメリカ	ユタ州ソルトレイクシティ近郊またはアリゾナ州フェニックス近郊から選択（いずれもアメリカ）	英語	全	2週～
CIEE	オーストラリア/ニュージーランド「環境保護ボランティア」	オーストラリア/ニュージーランド	オーストラリア（9都市）、ニュージーランド（1都市）の中から集合都市を選択	英語	全	1週～
CIEE	カナダ「地域サポート」	カナダ	低所得者支援施設等	英語	全	2週～
CIEE	動物NPO活動支援	カナダ	現地の動物保護施設&動物シェルター、動物園、水族館、チルドレンファーム等	英語	全	2週～12週まで
カリフォルニア大学デービス校	カリフォルニア大学デービス校 短期留学プログラム	アメリカ	カリフォルニア大学デービス校	英語	全	1ヶ月
ダラスバプティスト大学	ダラスバプティスト大学集中英語研修プログラム	アメリカ	ダラスバプティスト大学	英語	全	8週もしくは16週
トトロハウス語学院	韓国語正規コース・短期集中コース	韓国	トトロハウス語学院	韓国語	全	1週～
EIL	オーストラリアSLAPプログラム	オーストラリア	現地の小・中・高校等	英語	全	2ヶ月～10ヶ月
イントラックス	イントラックス 海外インターンシップ	アメリカ アジア等	現地の企業等	英語	全	5週～12ヶ月
Global wing	Global wing 海外インターンシップ	アジア	現地の企業等	英語等	全	1ヶ月～
EF	EF International Language Campuses 語学留学	21カ国	世界各地のEF校	英語・仏語 独語・韓国語 中国語	全	2週～
ESE	ESE (European School of English) 語学留学	マルタ	ESE	英語	全	コースによって異なる
NZLC	New Zealand Language Centre 語学留学	ニュージーランド	系列の語学学校（オークランド、ウェリントン）	英語	全	1週～
Projects Abroad	Projects Abroad チャイルドケア（一般ケア）	フィリピン	セブ島内の幼稚園、デイケアセンター、特別支援施設	英語 ビサヤ語	全	1週～
NPO法人PALETTE	PALETTE SCHOOL インターンシップ	フィリピン	PALETTE SCHOOL (NGO施設 GK Enchanted Farm内)	英語	全	2ヶ月～
UTS国際教育センター	オックスフォード大学St Hilda's Collegeプログラム	イギリス	オックスフォード大学	英語	全	2週
大学生協	シドニー異文化体験ツアー	オーストラリア	現地大学訪問交流、アボリジニ文化研修、グループ別実践フィールドワーク等	英語	全	1週
ACE English Malta	English Course	マルタ	ACE English Malta	英語	全	1週
Vanwest College	Vanwest College Co-op	カナダ	インターンシップを目的としてVanwest College（専門学校）でホスピタリティ等の知識を学び、現地で職業体験に取り組む	英語	全	9ヶ月
慶熙大学校語学堂	慶熙大学校語学堂短期留学プログラム	韓国	慶熙大学校	韓国語	全	3週
AIESEC	Global classroom Orkun Project	カンボジア	プノンベン市内の学校機関	英語	全	6週
UTS国際教育センター	オックスフォード英語研修	イギリス	オックスフォード市内の英語学校（CIE Oxford、Kings Oxfordなど）	英語	全	3週
API BECI	API BECI SPARTA CAMPUS	フィリピン	API BECI Academy Sparta Campus	英語	全	4週

## IV 履修に関すること

### 1. 単位の取り扱い

グローバル人材育成特別コースのカリキュラムで修得した単位は、所属学部等の卒業要件として算入することができる可能性があります。学部によっては算入できない科目もあるので、詳細は所属学部等の学生便覧等でご確認ください。

参考資料:グローバル人材育成特別コース時間割

### 2. 抽選登録・履修登録等について

グローバル人材育成特別コース時間割で抽選対象科目かどうかを確認した上で、履修登録を行ってください。

#### 抽選登録方法

<全学共通科目等>詳細は HP や掲示等で確認し、抽選登録方法に従って行ってください。

<G コース科目>詳細は説明会やメール等でお知らせします。

参考資料:グローバル人材育成特別コース時間割

### 3. 1年次第1学期開講のコース科目の履修について

#### 「グローバル人材育成特別コース入門」

必修科目と時間割が重複する場合を除き、必ず履修してください。

#### SPAcE 英語「(Health & Sustainability (H&S) )」

所属の系によって履修学期が異なりますので、ご注意ください。

1学期、2学期 : 社会系

3学期、4学期 : 生命系・自然系

#### G コース科目の抽選にご注意ください。

SPAcE 英語科目は2学期から育成院で事前の抽選を行います。

※所属の系によっては履修できない学期もあります。

(第2学期の抽選登録は5/8〆切)

参考資料:グローバル人材育成特別コース時間割

### 4. 修了証書

コースの定めるカリキュラムを修了した場合、卒業時にグローバル人材育成特別コースの修了証書が授与されます。

### 5. 大学院進学後のコース継続について

学部卒業時にコース修了要件が不足しているコース生が、本学大学院に進学した場合科目等履修生の制度を利用してコースを継続することができます。

ただし、コース継続には大学院での指導教員の下承が必要です。

医学部保健学科の学生が大学院で特別履修コース等を履修する場合は、事前に履修アドバイザーおよび教務学生担当窓口まで必ずご相談ください。

### 6. 他の副専攻コースの履修制限について

グローバル人材育成特別コースと岡山大学の副専攻コースを併せて履修することはできません。

## V 学びのサポート

### 1. 履修アドバイザー制度

グローバル人材育成特別コースでは、育成院専任教員に加え、所属学部(学科)および英語教員の履修アドバイザーを配置、コースでの学習や海外留学等に関する相談に応じるなど学生をサポートしています。

### 2. 海外留学を支援する奨学金制度

岡山大学が窓口となる奨学金制度は HP やメールでご案内します。 ※選考あり

### 3. グローバル人材育成院長賞

被表彰者の資格を満たした学生について、卒業時(コース修了時)に表彰します。

<被表彰者の資格> (1)(2)(3)すべてを満たしていること。

(1)以下の単位を修得済みであること。

「グローバルフィールドスタディ」

ただし、学内の海外派遣プログラムで、連続40日以上プログラムに限る。

(2)コース修了判定時の成績がGPA(全学)3.0以上であること。

(3)所属学部卒業要件およびコース修了要件を満たしていること。

※学部卒業時に要件を満たしていなくても、大学院でコース継続し、要件を満たした場合は対象とする。

### 4. グローバルな活動の推奨

グローバル人材育成の一環として、国際関連行事(One Young World, 模擬国連, SDGs 関連のシンポジウム, 海外からの来訪者との交流等)などを積極的に案内しています。

### 5. Global Study Lounge

グローバル・ディスカバリー・プログラム(GDP)とグローバル人材育成特別コースの学生が交流するためのラウンジです。外国人学生と友達になれる場でもあるので、積極的に活用して、異文化を肌で感じながら語学力のレベルアップをはかりましょう。

場 所:	一般教育棟 D 棟 2F (西側つきあたりの部屋)
利用対象:	グローバル・ディスカバリー・プログラム (GDP) グローバル人材育成特別コース
利用時間:	平日 8:00 - 19:00 (入室システムによる自動開錠・施錠) 土日・祝日は終日施錠 (夏季・冬季・春季休業中も利用可能) (一般教育棟 D 棟の開錠・施錠時刻…平日 7:30 開錠, 19:00 施錠)

開放感あふれる広いスペースは  
出会いと交流の場

世界各国から集まる GDP の  
学生たちと仲良くなって  
国際感覚をみがきましょう



*Global Study Lounge*

## VI その他

### 1. 周知方法

大学から学生のみなさんに対する通知、指示、連絡等は直接口頭で伝達する以外は、学務情報システムのポータルサイト、ホームページ、掲示、電話、本学の付与する Gmail アドレスあての E メールで行います。

また、必要に応じてグローバル人材育成特別コースの公式 HP でも周知を行うことがあります。

いったん掲示等した事項については、みなさんに周知したものとして取り扱うので、毎日必ず掲示板や Gmail を見るように心掛けてください。

掲示等に注意しなかったために不都合を生じ、大きな不利益をこうむるのはみなさん自身であることを心に留めておいてください。掲示等を見なかったことを理由に、責任を免れることはできません。

なお、グローバル人材育成特別コースの掲示板は一般教育棟 A 棟1階の廊下にあります。



OKAYAMA UNIVERSITY

グローバル人材育成特別コース

GLOBAL HUMAN RESOURCE DEVELOPMENT

〒700-8530 岡山市北区津島中 2-1-1  
岡山大学 グローバル人材育成院  
(一般教育棟 C 棟 1 階 学務部国際教育推進課事務室内)

TEL : 086-251-8569, 8552

E-mail : [global@adm.okayama-u.ac.jp](mailto:global@adm.okayama-u.ac.jp)

公式 HP : <https://global.okayama-u.ac.jp>

